

令和 4 年度 授業改善推進プラン

1 本校における課題

| | |
|----|---|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> 各学年及び各学級で、読書や音読の時間を適時設けてきたことで、「読むこと」に対して意欲的に取り組む姿が見られ、読解力の向上につながっている。 「書くこと」について、文型に当てはめて書くことはできるが、自分の思いや考えを書き表すことについては個人差がある。 小集団による対話活動において、相手に興味をもって聞いたり、臨機応変に質問したりすることが難しく、対話が成立しない場面が見られる。 |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> 体験活動や見学活動を取り入れることにより、思考力の向上が図れている。 ICTを活用することにより、知識の定着が図れている。 児童の主体的な学びと、実感を通じた理解につながるよう、今まで以上に地域を活用して、見学や交流の機会を増やしていく必要がある。 資料を多角的に読み取る知的で楽しい授業を展開し、思考力と表現力を高める必要がある。 |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリルの結果から、知識・技能に関しては、おおむね基礎・基本の定着が図れている。 習熟度別指導による学習により、個々に合った学習内容を行うことで、一定の成果が見られている。 既習事項を適切に用いて問題を解決したり、自分の考えを分かりやすく表現したりすることに課題が見られる。 文章から場面を読み取り、根拠をもって問題を解決することに課題が見られる。 |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策をしながら、児童が多くの実験に取り組むことができている。 問題を見だし文章化することや考察を深めることについての指導において、対話的な学びを実践するための時間確保が必要である。 思考力・判断力・表現力及び主体的に学習に取り組む態度が国調査平均よりもおおむね上回っているが、基本的な知識・技能の定着には個人差があると考えられる。 |

2 各教科の具体的な授業改善

| | 育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|---|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> 語彙力を増やし、自分の思いや考えを、豊かに書き表すことのできる力を育成する。 相手の話を受け止め、自分の考えを伝えることのできる | <ul style="list-style-type: none"> 各単元で、書くことの活動を充実させる。文章を推敲する時間を確保し、よりよい文章を書くことができるようにする。 日記や手紙など日常的に書く活動を取り入れ、書く活動に慣れさせる。 |

| | | |
|--|--------------|---|
| | 資質・能力を向上させる。 | ・校内研究（国語「話す・聞く」）の実践を中心に、様々な場面で、ペアや小集団で話し合う活動を取り入れる。 |
|--|--------------|---|

| | 育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|---|--|
| 社会 | <p>・「社会的な見方・考え方」を働かせ、課題を追究したり、解決したりする資質・能力を向上させる。</p> | <p>・中学年では、体験や資料から分かったことと考えたことをノートにまとめる活動を行う。</p> <p>・高学年では、文章、写真、地図、年表など様々な資料に触れる時間を設け、考えたことを記述・交流させることで表現力を高める。</p> |

| | 育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|---|---|
| 算数 | <p>・筋道を立てて考え、数学的に表現したり、考えを伝え合ったりする力を育成する。</p> <p>・問題場面を的確に捉え、学習した内容を活用しながら問題解決を図る力を向上させ</p> | <p>・思考を整理するために、ノート指導を充実させたり、式・図・数直線など、数学的な表現方法を低学年から意識的に取り入れたりして、表現する力を高めていく。</p> <p>・少人数や全体で考えを伝え合う過程を丁寧に扱い、互いの考えを伝え合うことのよさに気付くようにする。</p> <p>・問題場面を整理する方法を全体で導き出し、実態に合</p> |

| | | |
|--|-----------|---|
| | <p>る。</p> | <p>わせた方法で問題解決できるよう指導を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項と解決すべき問題を確認、解決のために必要な情報を的確に捉えられるような授業展開を行う。 ・習熟に応じた個別指導の充実を図る。 |
|--|-----------|---|

| | <p>育成を目指す資質・能力</p> | <p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p> |
|-----------|---|--|
| <p>理科</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・自然に親しみ、見通しをもって活動を通して、より妥当な考えをつくりだす等、問題を科学的に解決する力を養う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・理科の見方・考え方を働かせ、見いだした問題に対して、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、観察、実験などの結果を整理し結論を導き出すといった、問題解決の活動を ICT を活用しながら丁寧に行う。 ・観察・実験の方法や器具・機器の使い方について、安全指導を徹底しながら目的に応じて扱うことができるようにする。 ・動植物との関わりや天体の調べ学習等の活動においてデジタル教材等を活用して体験活動を補う。 ・既習事項の定着を確認する時間を確保する。 |

| | <p>育成を目指す資質・能力</p> | <p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p> |
|-----------|---|---|
| <p>生活</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・友達との関わりから情報を共有して、自分なりに考えながら活動を進めていこうとす | <ul style="list-style-type: none"> ・本校では、「きょうだいさん活動」として 1 年生と 2 年生の 1 人对 1 人の組み合わせを設定している。これを活用して発表するときに具体的に相手意識をもって |

| | | |
|--|---|--|
| | <p>る力を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物の成長等、自然の事象について知ったり、扱い方に関する技能を身に付けたりする力を育成する。 ・身近な人や社会と積極的に関わろうとする心情を養う。 | <p>活動することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植木鉢による栽培活動や飼育活動にも積極的に取り組み、日々世話をすることで生き物への愛情を育む。 ・公共物や公共施設を利用したり、ゲストティーチャーや地域訪問を活用したりすることによって地域への愛着を深める。 |
|--|---|--|

| | | |
|--|---|--|
| | <p>育成を目指す資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成する。 | <p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考・判断・表現のプロセスを大切にして学習計画を組み立て、音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。 ・表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付ける際には「比較する」「関連付ける」「言葉や体の動き |
|--|---|--|

音楽

| | | |
|--|--|---|
| | | <p>などで表す」等の具体的な手だてを工夫する。</p> <p>・考え方や感じ方を広げて深める学習活動の工夫として、「他者の考え方や感じ方に触れる」「聴き取り、感じ取ったことを交流する」など、対話的な学習を取り入れる。</p> |
|--|--|---|

| | 育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|--|--|
| 図工 | <p>・色や形との関わりから、自分のイメージをもつ力を高める。</p> <p>・活動を通して、発想・構想の能力や創造的スキル、鑑賞の能力を高め、豊かな情操を育てる。</p> | <p>・題材のねらい、めあてを明確にし、どのような造形要素（色・形・マチエール）に児童を関わらせるかを考え、きめ細やかに準備をする。</p> <p>・活動の過程で、児童一人一人が発揮している資質・能力を、写真記録や見取りメモ、児童の振り返りシート等を活用して丁寧に見取り、称賛・評価する。</p> |

| | 育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|---|--|
| 家庭 | <p>・家族や家庭、衣食住、消費生活や環境などについて、日常生活に必要な知識・技術を身に付け、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育</p> | <p>・衣食住や家族の生活等の家庭生活に関する学習においては、調理、製作等の実習や観察、調査、実験等の実践的・体験的な活動を取り入れる等、実感を伴って理解する学習を展開する。</p> <p>・実生活と関連を図った問題解決的な学習を効果的に取</p> |

| | | |
|--|------|-------|
| | 成する。 | り入れる。 |
|--|------|-------|

| | 育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|---|---|
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びを通して運動や健康に関する自己の課題を見付け、すすんで課題を解決できる力を培う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に活動できるように活動の場を工夫し、自己の現状を正しく把握して課題を設定するためにタブレット等を効果的に取り入れる。 ・課題解決ができるように毎時間ねらいの確認と振り返りの時間を設け、学習カードを活用して自己評価と教師からの評価を明確にする。 ・児童同士が協力して場の準備や片付け、活動内容に取り組んでいる様子を紹介したり、模範となる児童を全体の場で称賛したりすることで、児童同士の教え合いや学び合いが充実するようにしていく。 |

| | | |
|----|-------------|----------------------|
| 国際 | 育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|-------------|----------------------|

| | | |
|--|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・国際科の授業を通し、世界の言語や文化に興味をもち、多様性を尊重する心を育む。 ・英語の語感を養い、学んだ文や言葉を表現する力を育む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・歌やチャンツ、フォニックスを取り入れ、英語の音とリズムを体にインプットさせる。 ・NT と連携しながら、授業の中で外国の文化や習慣を児童に伝えてもらうスモールトークを定期的に行う。 ・英語のスキーマをできるだけ多く獲得できるように、語彙を提示する時に関連した単語も紹介する。 |
|--|--|--|

| | 育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----|--|---|
| 道徳 | <ul style="list-style-type: none"> ・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・指導観を明確にし、発問を精選することで、児童から多様な考えを引き出す。 ・児童相互の考えを深めるために、話合いの場を設けるとともに、座席配置の工夫をしたり、討議・対話など形式の工夫をしたりする。 ・構造的な板書を意識するとともに、展開後段で自己を見つめる時間を十分に確保することにより、児童一人一人が考えの変容を振り返ることができるようにする。 |

| | | |
|----------|-------------|----------------------|
| 活動 特別 | 育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
|----------|-------------|----------------------|

| | | |
|--|---|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 集団の中で課題発見、実践、振り返りなどの活動を通して、望ましい人間関係の形成を目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ キャリアパスポートを計画的に活用し、各行事や学級活動の振り返りを行い、次の活動に意欲をもたせていく。 ・ 自分のよいところや頑張ってきたことに気づき、自分の成長を感じ取れるようにする。 ・ 学級会コーナー等を設置し、児童が見通しをもって計画、運営ができるようにしていく。 |
|--|---|---|

| | | |
|-----------|---|--|
| 総合的な学習の時間 | 育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 探究的な見方・考え方を働かせて、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 他教科とも関連させて、調べ学習の進め方、まとめ方について指導し、習熟させる。 ・ 地域の特徴を生かした単元や、ゲストティーチャーを招いた授業等を取り入れる。 ・ 問題設定、追究、まとめ、表現についての知識・技能を中学年から計画的に育成する。 ・ 気づきや学びを共有することで学びを更に深められるよう、グループ活動を意図的に取り入れる。 ・ 学年の習熟度、必要性に応じてICTを効果的に活用し、学習したことをまとめたり発表したりする技能を身に付けさせる。 |

